



東村小学校閉校式

3月の閉校式は、新型コロナウイルス感染防止のため延期しましたが、**11月1日(日)**、関係者の御協力により、規模を縮小して開催することができました。

輝かしい歴史と伝統を築いてきた多くの卒業生、保護者や地域の方々、学校関係者への感謝の思いを込めて、当日の様子をお届けします。

市長式辞

福山市 枝廣 直幹 市長



本校は、146年間、歴代校長、教職員、地域の方々の並々ならぬ御尽力により、輝かしい歴史と伝統を築いてきました。卒業生の皆様は、友と過ごした学校生活を、関係者、地域の皆様は、子どもの成長とともに歩んだ歴史を、懐かしく思い起こしておられることと思います。

東村地域は、「かかしの里のまちづくり」を進めておられます。地域の方々の御協力のもと、東村小学校では、田植え、かかしづくり、稲刈りなど、米作りを体験し、農業について学習してきました。この農業体験は、遺芳丘小学校に引き継がれ、今、子どもたちは、新しい友だちとともに、地域の産業や自然環境について学びを深めています。

東村小学校は歴史の幕を閉じることになります。児童生徒の皆さん、この東村小学校の輝かしい歴史と伝統、人々の思いを未来へと引き継いでいってください。私たち大人も、子どもたちが笑顔で楽しく過ごせる社会、みんなが生き生きと暮らしていくことができる社会の実現に全力で取り組みます。

これまで温かい御支援をいただきました地域、保護者の皆様、学校に関わってこられた多くの皆様に深く感謝申し上げます。

ありがとう、東村小学校。

来賓代表あいさつ

東村町自治会連合会 伊藤 武彦 会長



時代の変遷とともに地域に支えられ、教育の理念を失うことなく伝統を育て、歴史を築いてきた東村小学校、学校は今変わろうとしています。児童数の減少により、近代的な教育推進を目的に、今津小学校との再編により、新たに遺芳丘小学校としてスタートしました。146年の歴史に幕をおろします。

校歌作詞者 小川清一先生は、「自然の花に抱かれて、祖先の偉業偲びつつ、営みあるを誰が知る、理想は高き、共に学び、希望はるけき、共に励まんわが友よ」と歌っています。先輩方の偉大な足跡と偉業を偲び、歴史と伝統に輝く校風を大事に育てることへの決意を新たに遺芳丘小学校へと引き継ぎ、東村児童としてたくましく脈打って行って欲しい。私たち地域全ての人々の願いです。子どもたちの心に、母校東村小学校を強く刻み、語り続けて欲しい。今後、教育の成果が達成できるよう見守っていきたくと思います。

東村小学校は、閉校後も地域文化の中心としての役割は残っています。行政と地域が一体となり、地域の発展、活性化に有効な施策を講じていただきますようお願いいたします。

これまで東村小学校の発展と子どもたちの健やかな成長を見守ってくださった歴代の校長先生、全ての教職員の皆様、御支援をいただいた関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

式辞

子どもたちの歌声が体育館を包みました。



校歌斉唱

東村小学校の校旗が上田校長から三好教育長へ返還されました。



校旗返納

東村小学校児童代表 杉原 大遙さん



中学校に通い始めて7か月経ちました。桜が咲く中を卒業したのがほんの昨日のこのようです。今でも毎朝小学校の前を通ると、ふと楽しかった思い出が蘇ってきます。東村小学校の思い出はたくさんありますが、僕の一番の思い出は、みんなで協力して応援合戦などをし、汗を流した運動会です。全校児童で励まし合い、笑い合った日が忘れられません。もう一つの思い出は、やはり田植えと稲刈りです。みんなで泥だらけになって田植えをしたことや、1年から6年まで東村でお米を作れたことは、何にも代え難い経験でした。

また、東村小学校を離れて改めて思ったことがあります。地域の皆さんが心を込めて作ってくださった野菜で作るできたての給食、一品一品が丁寧に味付けされていて、とてもおいしかったです。そして、地域、先生、保護者みんなが、僕のことを知ってくれていることです。たくさんの愛情の中で育ったことも、他の学校にはない東村小学校だけの素晴らしさでした。今、閉校を前にして涙が出るほど寂しい気持ちもありますが、多くの卒業生や地域の方々一人一人の大切な思い出が詰まったこの東村小学校に通ったことを誇りに思い、これからも元気に頑張っていきます。

東村小学校 上田 肇 校長



児童生徒の皆さん、進級、進学おめでとう。皆さんの元気そうな顔を見ることができて嬉しく思います。3月にはゆっくりとお別れをすることができなかつたので、なおさらです。皆さん、それぞれ今いる場所が、皆さんの居場所です。そこで頑張ってください。校長先生は応援しています。

私は、東村小学校の最後の1年校長を務めました。1年でしたが、東村小学校と東村に関わりができたことに感謝しています。昨年4月、地域や保護者の方々が校長室に来られ、たくさんの思いを話してくださいました。その思いに応えたい。この1年、できることは全てすると決めました。

5月の運動会、子どもたちは本当によく頑張りました。素晴らしい演技でした。ここで運動会をするのは最後という思いがあったと思います。来賓の方から「本当に良い運動会でした。ありがとう。」と言っていただきました。眼には涙が浮かんでいました。私は、それ以後「東村小学校最後の」という言葉を使わないようにしようと決めました。前を向こうとしている気持ちに応えたいと思ったからです。

食育行事は東村小学校ならではの行事でした。東村キャラクターの「東っくん」やミツバチ、博士に扮して、虫と受粉との関係や堆肥の作り方などを子どもたちに伝えていただきました。収穫祭では、東村のお米と野菜を使って、豚汁とごはんをいただき、さつまいもは七輪で焼いて食べさせてもらいました。忘れられないのは「やっぱり東村の米がうまい」の一言でした。

多くの皆さんに支えられ、東村小学校は146年もの長い間大事にされました。この東村小学校の歴史の一部であったことに感謝しています。

開会あいさつ

閉校式、閉校記念式典がいつまでも心に刻まれ、末永く語り伝えられるよう願っています。

閉校記念事業実行委員会
伊藤 武彦 委員長



児童発表：東村ソーラン



東村バンド：職員によるバンド演奏

児童あいさつ

僕たちの心の中にはいつまでも明るく元気な東村小学校は生き続けていきます。そして、僕たちが大人になったらこの東村小学校の歴史や思い出を子どもたちに語り継いでいきます。

児童代表 杉原 大遙さん



記念誌贈呈：麻生PTA会長から、公民館長に記念誌を贈呈



記念碑除幕式

遺芳丘小学校及び東村公民館で、閉校式及び閉校記念事業の映像を収録したDVDを貸し出します。

輝かしい学校の歩みを振り返り、未来へと引き継いでいく、心温まる閉校式になりました。心から感謝申し上げます。これからも、遺芳丘小学校を応援していただきますよう、お願いいたします。

編集後記

福山市教育委員会事務局 管理部 学校再編推進室
電話：084-928-1279 / FAX：084-928-1737
E-mail：gakkou-saihen@city.fukuyama.hiroshima.jp

開催の詳細は
HPに掲載しています。



児童代表の言葉

校長あいさつ

閉校記念式典